

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第2区分
 【発行日】平成18年10月26日(2006.10.26)

【公表番号】特表2002-532382(P2002-532382A)
 【公表日】平成14年10月2日(2002.10.2)
 【出願番号】特願2000-568511(P2000-568511)
 【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)
A 0 1 K 67/027 (2006.01)
A 6 1 K 39/395 (2006.01)
A 6 1 P 9/12 (2006.01)
A 6 1 P 43/00 (2006.01)
G 0 1 N 33/15 (2006.01)
G 0 1 N 33/50 (2006.01)
C 1 2 N 15/09 (2006.01)
A 6 1 K 38/22 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 45/00
 A 0 1 K 67/027
 A 6 1 K 39/395 N
 A 6 1 P 9/12
 A 6 1 P 43/00 1 1 1
 G 0 1 N 33/15 Z
 G 0 1 N 33/50 Z
 C 1 2 N 15/00 Z N A A
 A 6 1 K 37/24

【手続補正書】

【提出日】平成18年9月8日(2006.9.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】本態性高血圧を処置するための組成物であって、該組成物が、有効量の脈管形成因子またはそのアゴニストを含有する、組成物。

【請求項2】前記脈管形成因子が、血管内皮増殖因子(VEGF)である、請求項1に記載の組成物。

【請求項3】前記血管内皮増殖性因子が、ネイティブhVEGF145(図7、配列番号2)、ネイティブhVEGF165(図8、配列番号3)、ネイティブhVEGF189(図9、配列番号4)、ネイティブhVEGF206(図10、配列番号5)、および該ネイティブVEGFタンパク質のいずれか1個のアゴニストからなる群から選択される、請求項2に記載の組成物。

【請求項4】前記VEGFが、ヘパリンに結合する能力を欠く、請求項2に記載の組成物。

【請求項5】前記VEGFが、ネイティブhVEGF121(図6、配列番号1)またはそのアゴニストである、請求項4に記載の組成物。

【請求項6】前記VEGFが、ヘパリン結合ドメインをヘパリンに結合し得なくさ

せるように改変された該ヘパリン結合ドメインを含む、請求項 4 に記載の組成物。

【請求項 7】 前記 V E G F が、該 V E G F のヘパリン結合ドメイン内にアミノ酸変化を含む、請求項 4 に記載の組成物。

【請求項 8】 前記アゴニストが、抗 V E G F 抗体である、請求項 2 に記載の組成物

。

【請求項 9】 前記アゴニストが低分子である、請求項 2 に記載の組成物。

【請求項 10】 前記組成物が、2 以上の V E G F を含有する、請求項 2 に記載の組成物。

【請求項 11】 前記 V E G F が、別の脈管形成因子と同時投与されるために適切である、請求項 2 に記載の組成物。

【請求項 12】 前記高血圧が、塩依存性高血圧である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 13】 製品であって、該製品が、以下：

容器；

高血圧の処置において有効な量の脈管形成因子または脈管形成因子のアゴニストを含む、組成物；および

高血圧の処置のために該組成物を投与するための使用説明書、を含む、製品。

【請求項 14】 前記脈管形成因子が V E G F である、請求項 13 に記載の製品。

【請求項 15】 2 以上の脈管形成因子を含む、請求項 13 に記載の製品。

【請求項 16】 前記脈管形成因子の少なくとも 1 つが V E G F である、請求項 15 に記載の製品。

【請求項 17】 V E G F 分子の抗高血圧性アゴニストを同定するための方法であって、該方法が、該 V E G F 分子と比較して、候補アゴニストの、高血圧の標準的非ヒト動物モデルにおける高血圧を処置する能力を試験する工程を包含する、方法。

【請求項 18】 前記アゴニストが抗体である、請求項 17 に記載の方法。

【請求項 19】 前記アゴニストが低分子である、請求項 17 に記載の方法。

【請求項 20】 前記非ヒト動物モデルが、アンジオテンシン II (A I I) またはシクロスポリン (C S A) 誘導性塩感受性高血圧のラットモデルである、請求項 17 に記載の方法。